

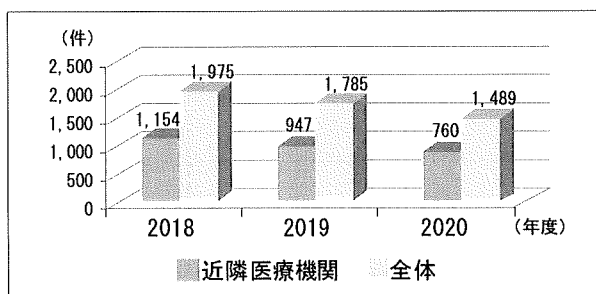
1. 地域連携室の体制

2020年度も看護師3名、社会福祉士1名の体制で連携・退院支援を行った。

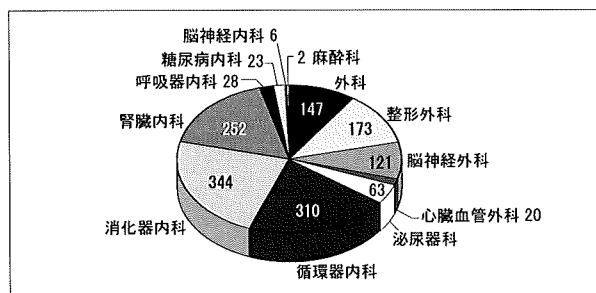
2. 地域連携（紹介）

全体の紹介件数は1,489件、近隣医療機関（三角町、大矢野町、松島町・宇土市の一部）からの紹介は760件で前年度に引き続き減少となった。特に近隣医療機関からの紹介が顕著で（前年比：187件減）、全体数に影響した結果となった。また、紹介元をみると、2020年度も同様に、全体の約半数が近隣医療機関からの紹介で、科別としては消化器内科、循環器内科、腎臓内科、整形外科の順で紹介が多かった。紹介が減少した原因としては、元々当院周辺地域が過疎化している中で、新型コロナウイルス感染症の拡大（受診控えや感染拡大時に内視鏡検査を一時制限）、MRI更新のため1ヵ月ほど稼働を停止したことなどが影響したと考えられる。

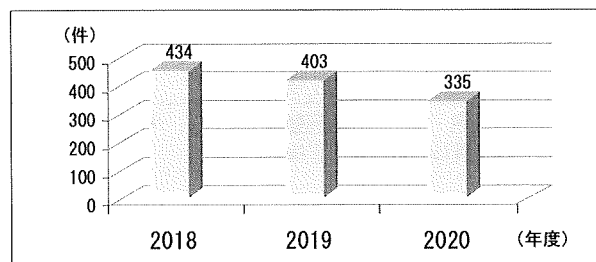
紹介件数の推移・内訳



紹介科別内訳



紹介なし入院件数



3. 連携活動（連携先訪問）

2020年度は新型コロナウイルス感染症もあり、感染が落ち着いた時期に訪問活動を行った。

また、新しい試みとして、ICTを使ったオンライン面会を一部の医療機関と行ったが、先方からも好感触のコメントを頂いたので、次年度もこの活動を広げていきたい。

4. 退院支援

2020年度は退院支援加算 I を916件、入院支援加算1を51件、入院時支援加算2を3件算定した。各病棟に配置されている医療ソーシャルワーカー、退院支援看護師や外来看護師と協働し、高齢化の進む地域環境の中、入退院支援に取り組んでいる。

安心安全な在宅療養支援のため、病棟の退院支援専任者にて退院前訪問指導料4件を算定した。また、介入困難事例についてはミーティング時に共有し解決を図り、年間4症例の症例検討を行い、支援の振り返りを行っている。

その他の取り組みとしては、病棟と外来の連携が図れるように外来の継続看護システムを整え、継続看護チームで情報共有している。具体的には退院後の外来受診時の介入、外来サマリーの作成やカンファレンスの開催、外来でのICT同席、意思決定支援、専門性の高いリスク評価を行っている。また、外来看護師と訪問看護師間での直接連携を開始し、在宅生活や外来診療における情報交換・共有を円滑に繋げるようなシステム作りを行い、9件の連携が図れた。今後も継続していきたい。

5. 出前・健康講座

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、5件/年となった。ただ、その中でも近隣の中学校からご依頼を頂き実施することができた。次年度も感染症の状況が落ち着くまで今の状況が続くと予想されるが、依頼があった際は最大限対応していきたい。

6. 次年度の計画

次年度も今年度と同じく、新型コロナウイルス感染症の影響は続くと思われる。感染防止に努めながら、連携機関の皆様とICTを使った面会やカンファレンス、情報共有などを積極的に行っていききたい。